

【テーマ】 「部分開業の実態と課題、そして展望を語り合う」

近年では開業を実践する心理臨床家は増えている。ただ生計を維持しつつ開業へと移行するために、部分開業から始めるのが一般的のように思われる。また高度な専門性を追求するために訓練を継続しながらの場合もあるだろう。

歴史的には、心理臨床は、精神医療での心理療法や教育センターでのカウンセリングを基軸に発展してきた。しかし今では、学校や児童福祉、急性期や終末期の医療、産業メンタルヘルスや災害支援などへと領域は広がり、援助対象も個人から家族、援助スタッフやチーム、組織や地域社会へと拡大してきている。援助方法も、心理療法やカウンセリングの理論や技法を応用したコンサルテーション、組織やチームのアセスメントに基づいたグループへの介入などと多様化してきている。こうした心理臨床家を取り巻く環境の変化は、おそらく開業心理臨床にとっても無縁ではないだろう。かつての心理療法だけを中核とする状況とは異なり、実践される心理臨床は多様化し、より幅広い臨床心理学的援助を提供する形態も含まれるのが今日の状況だと思われる。

そこで今年度『開業心理臨床セミナー』では、若手の開業実践家とともに『部分開業の実態と課題、そして展望』について、率直かつ対等に語り合う機会としたい。部分開業は、全面開業のための初期段階という側面もあれば、組織に所属しながら継続される部分開業という側面もあるだろう。また組織という第三者による制約を受けつつ守られつつ臨床をする生活と同時に、開業臨床家がひとりで全て担い責任を背負い自立してクライアントに向き合うという側面もある。

部分開業という形態を手掛かりにして、開業心理臨床について、協会に所属していない臨床家とともに、『教える』や『学ぶ』ではなく、『ともに話し合っ、考える』ことに主眼をおき、再考する機会にしたい。そして開業心理臨床をめぐる今日の状況を把握し、課題を洗い出し、その将来像を見通して、開業心理臨床家の職能団体としてあるべき姿をともに考えていきたい。

開催日 2025年2月11日（祝日；建国記念日）

会場 名古屋駅前「ウインクあいち」1104号室（定員84）・Zoomによるハイブリット開催

参加費 5000円

【プログラム】

**午前の部：開業のケースの事例検討会** 10:00～12:00

司会 栗原和彦（代々木心理相談室）

事例提供 長川歩美（A&C中之島心理オフィス）

「大人になることを恐れていた強迫性障害の女性との面接過程（仮題）」

助言者 浅井真奈美（小泉心理相談室）

※12～13時の間は、会場で協会の総会が開催されるため、お部屋をご利用できません。

**午後の部：シンポジウム** 13:00～16:50

司会 宮地幸雄（岐阜カウンセリング研究所）・鈴木 誠（くわな心理相談室）

シンポジスト：

橋爪龍太郎（文京学院大学臨床心理相談センター・清澄白河サイコセラピーオフィス）

山内恵理子（こはる心理カウンセリング室）

多田幸子（四ツ橋心理相談室セラピア）

長久保勇輔（宇都宮カウンセリングオフィス）

指定討論者 小泉規実男（小泉心理相談室）

指定討論者 平井正三（御池心理療法センター・NPO 法人子どもの心理療法支援会）

全体討論 16:50終了

懇親会 セミナー修了後約3時間、協会員・発表者・会場参加者同士の交流と親睦をはかる懇親会を、JR 名古屋ゲートタワー「Masa's KITCHEN」で開催します。定数15席で、満席になり次第打ち切りとさせていただきます。参加費；お食事代8000円+飲み物代。

申込方法；セミナー参加を希望される方は、①氏名、②住所、③電話番号、④メールアドレス、⑤所属（パート開業の方は本職と開業先を連記）、⑥臨床心理士資格の有無と臨床心理士番号、⑦Zoom 参加希望の有無、⑧懇親会参加の有無、⑨当セミナーをお知りになった経緯を明記の上、メールで事務局までお申し込み下さい。折り返し仮受諾書返信と共に参加費の振込先をお知らせします。参加費の銀行振込の確認が出来た方には、後日、Zoom の ID とパスワードを事務局よりメールにてお伝えします。また、日本臨床心理士資格認定協会への一日研修申請を予定しています。

事務局；〒446-0031愛知県安城市朝日町2-1 電話&FAX；0566-77-5412 mail；[koizumi@ksinri.com](mailto:koizumi@ksinri.com)

※当協会へのご入会を検討されている方は、HP を参照の上、事務局までお問い合わせ下さい。